礼の重要性

:

明:

礼 は、それを的 かつ忠 に行うことによって、ムスリムの精神的 身体的 理的な の向上につながる 自の であり、育成プログラムなのです。

目: 事詩 行 とその 践践の五ヶ条」とその他の崇 行

より: ジャマ ルッディ ン ザラボゾ

⊟07 Sep 2015

集日 11 Jul 2022



イスラ ムにおける礼 の重要性は、いくら しても しすぎることはありません。それはイスラ ムの一番目の柱であり、 言者(神の慈悲と祝福あれ)はその重要性が、人をムスリムとする「信仰 言」に次ぐものであると言及しました。それは、あらゆる 言者たちと人々に して とされたものです。神はその 性を高らかに宣言しており、たとえば神はモ ゼに直接 りかけたとき、こう述べています。

同に、言者ムハンマドの天国への昇天のにも、礼は 化されています。さらに、「信仰者たち章」という章の序章で神が信仰者を称するとき、その特のひとつとして、礼に 忠であることが述べられています。

ある男が 言者に し、最も のある行いについて ねました。 言者はそれが礼 であると答えています。その男性は同じ を3度 り返し、 言者はそれぞれれ である」と答えたものの、4度目になると 言者はこう答えています。

「神の道におけるジハ ドである。」1

礼 の重要性は、多くの 言者の 言から て取れます。たとえば、 言者はこのように述べています。

礼 の重要性は、人の人生の中でいかなる行いをしようとも、最も重要な面とは神との、すなわち信仰心(イ マ ン)、神への畏怖心(タクワ)、 さ(イフラ ス)、そして神への崇 (イバ ダ)なのです。そうした神との は、礼 によって明示され、 践され、 加や少をするのです。それゆえ、 言者自身が述べたように、もしも礼 が完全かつ 切なものであれば、残りの行いも完全かつ 切となり、礼 が不完全かつ不 切であれば、残りの行いも不完全かつ不 切となるのです。

的に、礼 が神への想念、そして赦しを い いつつ 切に行われたのであれば、それは礼 者に して え ない影 を与えるでしょう。礼 を えると、彼の心は神への想念で一杯になるはずです。彼は神に する畏敬の念で たされると共に、神への希望を持つはずです。そうした をすると、神への 的な高い地位から神への不 という地位の下落をしたいとは思わなくなります。神は礼 におけるそうした 面についてこう言及しています。

"????????????????????"???????29?45?

ナドウィ は、そうした 果を次のように雄弁に っています。

その目的とは、あらゆる や 惑と 峙させ、 や逆境を り越え、自身を生身の弱さからまもり、 度ない欲望の 害を受けぬよう、人 の潜在意 下に精神力、信仰の光、神への意 を引き起こすことです3。

礼 を 切に行うことによって人に与えられる全体的影 は、クルア ンにおける他の でも られています。

来世に しては、神の赦しと 悦は礼 と密接な を持っています。神の使徒は次のように述べています。

礼 は人にとって一 の 化作用をもたらすものです。人はそれを通して1日に5回、主へと立ち返り、向かい合います。上述のように、神の御前に立つことは、人を 行から ざけます。さらに、罪を犯してしまった には、その罪に する 悔と悔悟の念を呼び起こし、神に真 な赦しを う となります。また、礼 そのものは 去の 行の一部を打ち消す善行ともなるのです。これらの点は、 言者 (神の慈悲と祝福あれ) にまつわる以下のハディ スから て取ることができます。

のハディ スでは、 言者はこう述べています。

脚注:

1

アフマドとイブン ヒッバ ンによるハディ ス集より。アル=アルバ ニ はそのハディ スにハサンの格付けをしていま: Muhammad Nasir al-Din al-Albani, Sahih al-Targheeb wa al-Tarheeb (Beirut: al-Maktab al-Islami, 1982), vol. 1, p. 150

- 2 アッタバラ ニ によって された 承。アル=アルバ ニ はそのハディ スにサヒ フの格付けをしています。参照: Al Sahih al-Jami, vol.1, p. 503.
- <u>3</u> ナドウィ 、24 。

4

礼 における「クシュ ウ」とは、礼 する者の心が礼 に集中している状 を示します。そうした心の状 は身体にも表れの人物は やかに静止した状 になります。また、 もうつむきます。その人物の声もそうした心の状 に影 されます。 (そしてクシュ ウとクドゥ ウの相 点) については、次をご参照ください: Muhammad al-Shaayi, al-Furooq al-Laughawiyyah wa Atharahaa fi Tafseer al-Quran al-Kareem (Riyadh: Maktabah al-Ubaikaan, 1993), pp. 249-254.

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/2870

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。